



稲田 孔 議員

Q. 最近の町民税の推移と消費税への見解は

A. 税収は減少、消費税増税には理解を示す

少子高齢化社会の福祉は、社会保障の安定財源の確保という課題が避けられない。消費税増税分を充てるとの説明に税体系全体の説明不足が問題で、一定の理解は示すが今後の議論が必要だ。

★消費税引き上げの問題に対して・・・
町民税収は19、21年度で12億7千万円前後の推移だが、22年度は約1億円減収している。
国保税も大幅減で、介護保険料も横並びで低調。町の消費税額は、水道事業関係の消費税分と合わせて1億5,200万円程度の支払いとなった。

町長

景気低迷の中で消費税増額は、暮らしに大きな影響をもたらす。「税と社会保障一体改革大綱」では現行の2倍の10%の引き上げを提唱している。町民税の推移と、消費税に対する町の見解を問う。
また、町の消費税額は。

問 地域防災力アップには身近な防災用具や倉庫が必要では



自主防災組織の防災倉庫

答 今後防災計画の見直しの中で検討していく
総務部長

地域の自主防災会への財政援助、防災資材の貸与の計画はあるか。
身近に防災用具がある地域防災力が強まり防災倉庫が百世帯に1個ぐらい設置されると安心して避難もできる。財政的な問題もあるが検討を。今後の防災講演会、避難訓練などの計画は。

地域の防災力を高めるために、地域の実情に合った活動ができるよう防災訓練や研修に対して補助金交付など支援している。防災倉庫や用具の購入については、今後の防災計画の見直しの中で検討していく。
防災講演会、訓練など、原発事故対応も想定した訓練も実施したい。

問 大型商業施設利用者の車両進入への対応策は

生活道路として利用している地元住民の安全対策は。信号機設置の要望については。
土、日、祝日の電車、バスの増便など事業者への要請はできないか。

答 地元関係者との説明会での意見を踏まえ検討する
産業建設部長

古泉駅南から町道筒井徳丸線へ通じるルートは道路計画については測量を行い現在道路構造の検討中だ。この間、地元関係者との説明会で意見調整し、信号機の設置についても検討する。
進入車両軽減策として電車、バス増便案も一定効果はあるが買い物後の荷物などショッピングセンターの性質上、駐車場へのスムーズな誘導などが渋滞緩和で効果大と考える。今後も事業者への協力要請は続ける。

問 水路保全是自然の力で

宗意箱住宅の生活排水路から悪臭がするので改善を、という相談があった。

従来の治水一辺倒から、水路の三方張りの底を抜き自然石を敷く方式に改めてはどうか。
長尾谷川から魚介類の遡上を促し、自然浄化力で保全する考えは。

答 治水は従来の方法で原則地元で管理をお願いしたい
産業建設部長

水路の管理については地元でお願いしたいのだが、以前に町で二重断面の水路改修を行っていて、ある程度水の流れがよくなった経緯がある。
なお来年度、県道から下流の改修を計画している。

その他の質問
◎ 中学必修科目の武道(柔道)の安全性は

